

# 訪問看護ステーションにおける 特定行為研修修了後の活動



医療法人北農会

恵み野訪問看護ステーション「はあと」

管理者 樋口 秋緒

(2015年3月特定行為研修修了、慢性疾患看護専門看護師)



# 【当施設の特徴】 「医療法人北農会恵み野病院」



**地域に唯一の一般急性期病院**

## 恵庭市データ

(いずれも平成22年北海道石狩振興局)  
市内通院受療動向割合87.5%  
市内入院受療動向割合75.5%  
救急医療自給率約90%

千歳空港と札幌を結ぶJRの駅より徒歩5分圏内  
199床 うち **一般急性期病床** 150床  
地域包括病棟 49床  
2次救急  
総合内科・循環器・消化器・糖尿病センター  
外科・整形外科・小児科・脳外科  
皮膚科・形成外科・泌尿器科  
☆高度実践看護師(認定・専門)  
皮膚排泄・緩和・感染・糖尿病・慢性疾患看護

平均入院日数13日  
在宅復帰率 8割以上

- ★介護保険施設
- ★ディケア・ディサービス・訪問リハビリ
- ★居宅介護支援事業所
- ★地域包括支援センター
- ★ヘルパーステーション

# 「恵み野訪問看護ステーション「はあと」」

平成 18年 訪問看護室「はあと」からスタートし、  
平成28年6月ステーションに変更  
スタッフ常勤換算 7.8名

(常勤看護師 6名 パート看護師2名 PT午後のみ 1名 兼務事務1名 )  
利用者数平均90名 一ヶ月のべ平均訪問件数390(3割は医療保険利用者)  
利用者数のうち 特別管理加算 40名 前後  
在宅看取り年間 6~10名 訪問診療週1回 (恵み野病院医師)  
グループホーム連携3箇所 恵庭市教育委員会と巡回看護を契約



敷地内のサービス付高齢者住宅1階に事務所あり



地域に唯一の  
一般急性期病院が母体



- ・医療処置継続で退院する利用者
- ・体調が万全でない状態で退院、退院直後から訪問看護が開始
- ・外来待ち時間が長い(半日仕事)
- ・総合診療医がない(専門科別)

利用者の  
特徴

# 【特定行為研修の受講動機】

## 1 利用者と地域と特徴から

- ・地域に唯一の一般急性期病院が母体で、医療処置継続で退院、体調が万全でない状態での退院となっている。
- ・医療処置目的含め定期外来でも外来待ち時間が長いので(半日仕事)利用者も家族も辟易している。
- ・総合診療医がない(専門科別)ので症状によって複数科受診している。
- ・市内に24時間稼働のストレッチャー対応可能な移送業者がない。  
(夜間に救急搬送されても帰りの交通手段がない)

## 2 自身の力不足から

受診のときには症状消失、あるいは悪化。受診のタイミング・報告方法に迷う。

受講動機

これらをなんとか解決できないものか

# 【研修受講中の周りの理解と支援】

## 在学中の保証

- ・実習や講義受講日は研修日扱い
- ・実習時の交通費、宿泊費の補助

## 勤務調整

夜間の講義始業時間に合うよう退勤可能とするため、就業時間開始時間の変更(早出)

## 部署管理に関して

実習などでの管理職不在時の管理体制・人員配置(主任の役割拡大)

## 履修内容研鑽のために

- ・外来での初診問診参画
- ・救急外来での処置見学
- ・実践報告の機会設定

## 修了への激励

修了後は報酬として「特別業務手当」を設定



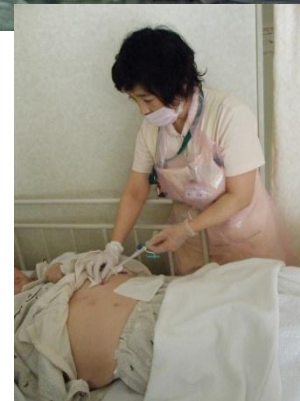
# 【活動の実際】

## 利用者の受診にかかる負担軽減のために

### 在宅療養で行われる特定行為に特化して実践

研修を修了した13特定行為区分 21行為のうち  
まず以下の特定行為を実践に移した

- 気管切開カニューレの交換
- 膀胱瘻・腎瘻カテーテルの交換
- 胃瘻カテーテルの交換
- 腹腔ドレーンの抜去
- 褥創のデブリートマン(外来継続のもの)
- 脱水症状に対する輸液による対応



～利用者の受診に係る苦勞～

特に冬の訪問は厳しいのに  
患者の通院はもっと厳しい



雪が車の運転を  
妨げる



患者の通院が  
大変



## 《症例1》

### 気管切開カニューレの交換

60代 男性 筋ジストロフィー  
日常生活はほぼ妻により全介助を受けている。  
食事中に窒息しCPA搬送となり、一命をとりとめた後、スピーチカニューレ装着し退院。  
2週間に一度、外来通院していた。通院4年目になったとき、付き添う妻から「通うのが大変で…」との声に耳を傾けた外来ナースが、樋口を紹介。



2週に一度では既に閉塞。肉芽も出来かかっており、カニューレタイプと交換頻度を変更。  
以前は2週間の間我慢していたが、受診不要、閉塞の不安がなくなった。

## 《症例2》

### 膀胱瘻カテーテル交換

60代 男性 頸髄損傷四肢麻痺  
全介助状態。神経因性膀胱で膀胱瘻造設。  
2週間に一度の膀胱瘻カテーテル交換のために外来受診していたが、病院へは10kmほど。閉塞にて救急搬送経験数回。しかし、ストレッチャー移送では帰りの手段がなく、夜間や休日に救急搬送となったら1泊入院を余儀なくされていた。  
介護者の「顔色より管ばかりに目が行く」との言葉があった



定期的に在宅で交換。カテーテル汚染・尿量・尿性状を観察して、閉塞前に交換することで、救急搬送ゼロになり、介護者は顔色が見れるようになった。

# 【活動実践と効果】①費用と時間を削減

外来受診の場合（対象者全員一割負担）

内 訳		気管切開カニューレ	胃瘻カテーテル	膀胱瘻カテーテル
材料費（請求不可）		カニューレ5870円 交換平均2回/月	カテーテル7430円 交換平均1回/月	カテーテル4080円 交換平均2回/月
患者負担額	医療機関請求額 再診・手技料	540点	2800点	510点
	その他費用 タクシー送迎費	平均1500円	平均1500円	平均1500円
時間	外来受診にかかる 平均時間	32.7分	31分	<b>73.8分</b>
	うち処置平均時間	約5分	約5分	約10分
人	処置に係る スタッフ	外来看護師 事務員 医師	外来看護師 レントゲン技師 事務員 医師	事務員 医師 外来看護師
他	交換に係る制約	処置室待ち 主治医外来日予約	透視室予約 主治医空き時間都合	処置ベッド待機 主治医外来日

医療点数は1回  
130点程度減。  
胃瘻カテーテル交換の費用算定は  
できない。  
受診の交通費は  
不要に。

処置にかかる時間は受診・在宅で  
変わらない。しかし  
膀胱瘻カテーテル  
交換では外来時間  
73.8分が不要と  
なった。

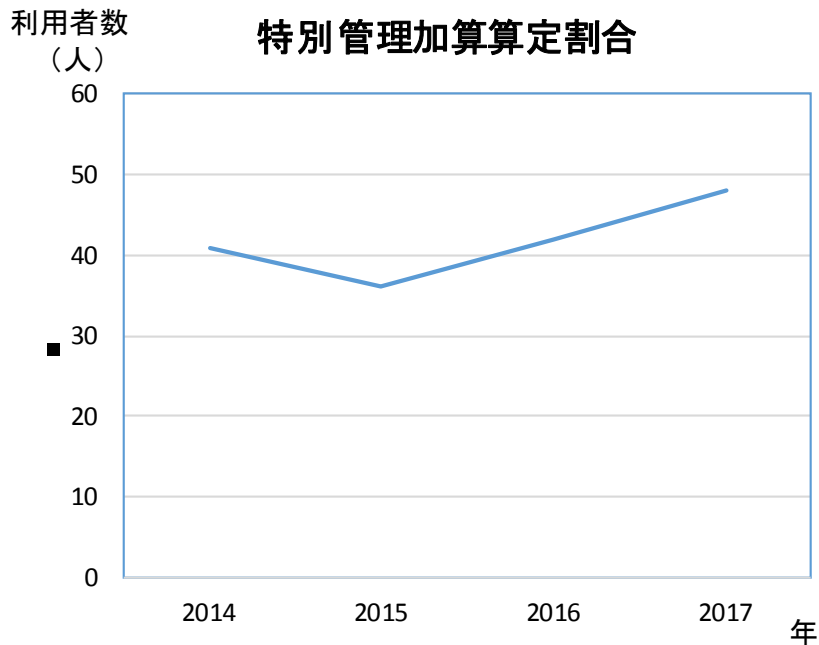
特定行為研修修了看護師による在宅での特定行為実践の場合

内 訳		気管切開カニューレ	胃瘻カテーテル	膀胱瘻カテーテル
材料費		(請求不可)	(請求不可)	(請求不可)
患者負担額	医療機関請求額 再診・手技料	412円	0	380円
	その他費用 タクシー送迎費	不要	不要	不要
時間	処置平均時間	約5分	約5分	約15分
人	処置に係る スタッフ	診療看護師のみ	診療看護師のみ	診療看護師のみ
他	交換に係る制約	なし	なし	なし

# 【活動実践と効果】②事業所評価

「利用者数の増加」  
「特別加算算定者増」

→ 軒単価増=増収

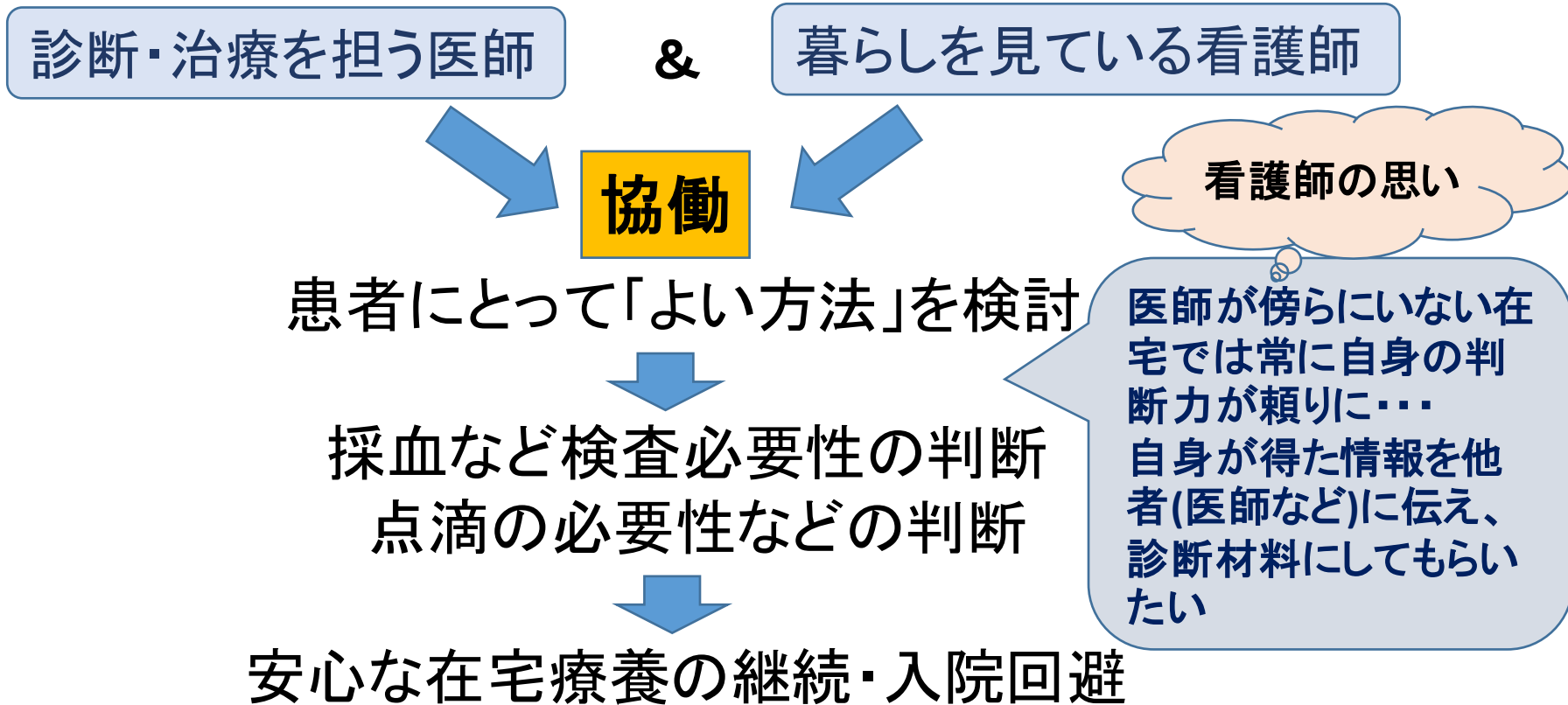


- ・特別管理加算 I・II 算定者の増加
- ・さまざまな医療ニーズへの対応が可能
- ・複雑な背景における慢性疾患の管理に対応できる
- ・「地域住民のための訪問看護ステーションとして役割発揮」

# 【活動の実際と効果】③医師との協働

共通項目履修で得たアセスメント力を基礎に  
判断・相談・報告することで

- ・「異常の早期発見」と「予防」
- ・「在宅で対応できることを増やす」



# アセスメントで重症化予防・早期発見・対処と 受療のタイミングを判断できる

《具体的な「様子を見ましょう」は



利用者や介護者が余計な心配をしないですむ》

“なにを” “いつまで” “どのような”症状が起きたら連絡を  
してもらうか、それは“なぜか” を具体的に伝える

⇒ 次の訪問日までの安心を提供することができる

⇒ 待機当番スタッフの安心にもつながる

⇒ 医師との信頼関係にもつながる

アセスメント力をつけて適切な医師報告を  
行うことで患者（利用者）が満足のいく医療  
が受けられる

# 【活動実践と効果】④介護者の思いから

## ①受診準備に関すること

受診時に持参する吸引セットなど荷物の準備に手間がかかるため前日や早朝から準備することに面倒を感じていたが減少

## ②通院手段に関すること

受診終了時間が不明のため、帰りの予約ができず、受診終了後介護タクシーが来るまで待ち時間があったが、在宅による特定行為でその問題は減少

## ③外来での行動に関すること

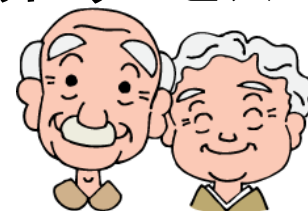
受診時の主な移動手段はストレッチャー等にて、外来待合室での移動や待機場所に苦渋していた

顔見知りにあうのが苦痛で、受診日が憂鬱だったが精神的負担が軽減した。

## ④受診日に係る調整に関すること

以前はディサービスを休んだり、ヘルパーを頼むなど受診のためにサービス調整をしなくてはならなかったし、冬の受診日の天候(吹雪とか)

心配もなくなった。



# 実際の効果は、利用者の『声』から いただいた

家で管を替えてくれるおかげで、  
冬に受診する心配がなくなった。  
病気の相談も出来て安心して  
暮らせるようになったよ。



気管切開・ペグ利用の全介助・老々介護のBさん



フムフム…

院長外来



気管切開している車椅子利用のAさん

# 【活動の実際と効果のまとめ】

特定行為研修制度を履修することで

## 外来受診の負担軽減に貢献

特定行為の実施及び的確な症状アセスメントは予約外の受診や入院を減らせる

## 退院支援に貢献

医療処置があっても特定行為を安全に実施することで、在宅でのケアにスムーズに移行できる

## 事業所の安定経営に貢献

訪問看護においても、臨時訪問を減らせることでスタッフの心身の負担軽減になり、事業所の安定経営につながる

## 費用負担軽減に貢献

在院日数短縮や退院調整への一助となり、費用負担の軽減は患者の満足度にもつながる



患者（利用者）、医療者への効果につなげることができている

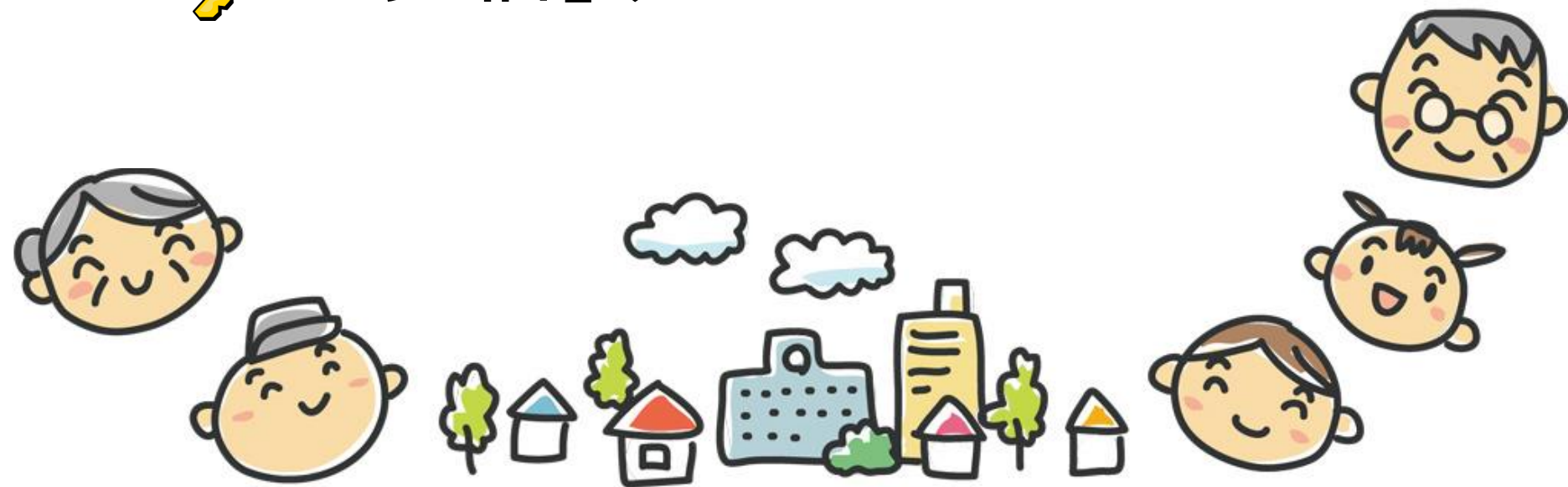


# 【地域包括ケアで 特定行為研修修了者が担う役割】

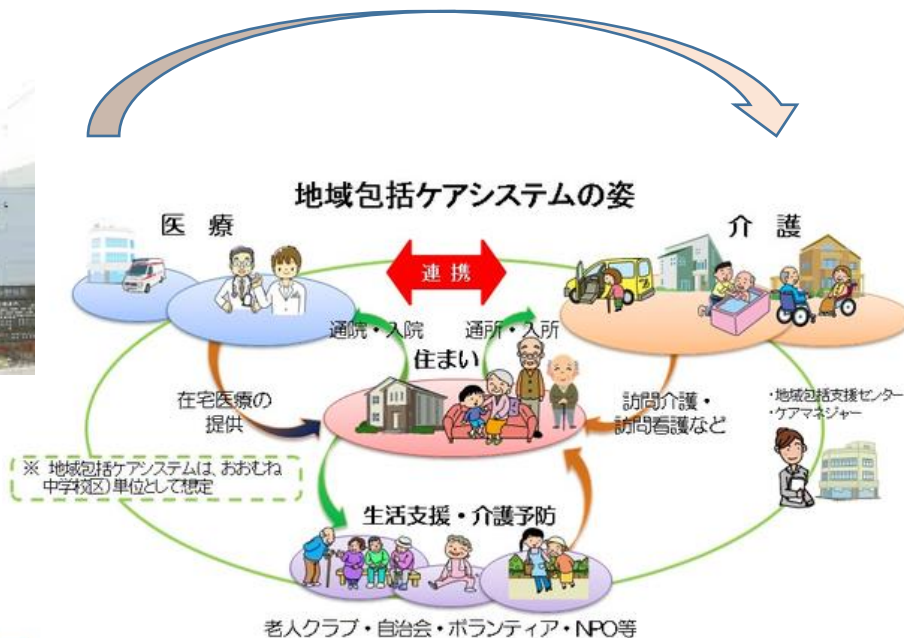
地域のリソースとして役割を発揮する上で  
鍵となるのは...

🔑 「つながり・つなぐ」こと

🔑 「発信」すること



# 地域サポートセンターの一員として



- ・訪問看護ステーション「はあと」
  - ・ヘルパーステーション恵み野「あい」
  - ・恵み野居宅介護支援事業所
  - ・地域包括支援センター
  - ・サービス付高齢者住宅
- シャロームめぐみの

地域貢献・地域連携

# 【地域包括ケアで 特定行為研修修了者が担う役割】 具体的には「つながり・つなぐ」役割

地域のステーション同士の連携  
互いのスキルアップにつなぐ  
訪問看護連絡協議会の設立

訪問看護  
事業所同士

医師・ケアマネへと連携  
在宅・施設看取りと重症化予防  
調剤薬局連携で内服管理  
ポリファーマシー対策

研修修了者と  
所属施設

他の施設資源

医師・病院  
介護施設・介護サービス

次の世代

市民

教育の現場で  
教室で  
実習施設として

市民への情報提供  
ローカルFM利用で情報発信  
健康教育の場で情報発信



FMラジオ出演